

公共施設再配置（更新素案）についての地区説明会における質問及び回答（大浜中学校区・R6.7.8開催）

No.	大項目	項目	質問内容	回答要旨	備考
1	再配置の方向性	小中学校の再編	大坂小・千浜小・大浜中の小中一貫教育とはどのように統合を検討しているのか詳しく説明してほしい。	小学校2校と中学校1校を統合し、1つの形にした小中一貫校を考えています。学校再編計画では第Ⅱ期、令和15年から24年の間に整備予定と位置付けています。検討の際は地域役員・保護者会・校長先生等の関係者を委員とした検討委員会を設け、地域の皆さまの御意見を伺いながら進めていきたいと考えています。現時点では具体的な進め方については決まっていません。	
2	再配置の方向性	小中学校の再編	千浜小は築58～59年の棟があるが、第Ⅲ期の再編までどうしていくのか？	学校再編計画では第Ⅱ期に再編と位置付けていますが、その間にも建物の老朽化・劣化は進みます。基本的に耐震補強工事は済んでおり、地震で倒壊する確率は低いと考えていますが、給排水等の設備は老朽化が進むことが考えられますので、小中一貫校の建設を待つ間も、想定される劣化についてはその都度、改修・修繕等で対応していきたいと考えています。	
3	再配置の方向性	交通手段	掛川市南部地域は公共交通の便が悪く人口減少をまともに受けている。公共施設うんぬんより、掛川期と南部を結ぶ道路の拡張についてはどう考えているのか？	資料1 P8に地区ごとの人口推移を示したとおり、大浜地区は人口が18%減少となっています。市全体としては人口減少を抑制する手法として企業誘致や子育て支援を行っていますが、やはり地域の偏在が起きている状況です。市としてこのままで良い、何も対策をしない、とは全く考えていません。住んで頂くためにまずは移動手段として、公共交通の利便性を確保しなければなりません。先ほども説明にありましたが、デマンドや生活支援に加え、AI・人工知能の活用を検討していきたいと思ひますし、自動運転の実証実験をしているところです。交通の問題についてできる限り改善していきたいと思ひます。また、空き家の問題についても、定住人口という点もありますが、普段は市の中心地にいる方が週末には余暇のために山間や海岸部に拠点を持つ「二拠点生活」についても検討していきたいと思ひますので、地域の皆さまと一緒に協議していければと思ひます。道路については、今は南北道路を整備していますが、今後も必要に応じて造っていききたいと思ひます。	
4	再配置の方向性	各地域の平等性	1市2町が統合したが、南部地区が発展してなく、辺りになってきている。改善する予定はあるか？	本年度より公民館は生涯学習協働推進課で担当しています。地元区は取り壊し希望と承っていますので、今年度改めて、区長や区の皆さまと協議したいと考えています。	
5	再配置の方向性	個別施設 の方向性	国浜公民館は築49年のRC造で、市が所有・地元区で管理している。耐震性能が無く、地元区は取り壊しを希望している。R5に教育委員会より耐震調査の報告を頂いたが、今後、区としてどのように進めたらよいか。	試算として、解体は2.5万円/㎡、新設は30万円/㎡程の費用を見込んでいます。	
6	再配置の方向性	事業実施の財源	解体費用がわからない。新設費用がわからない。		

No.	大項目	項目	質問内容	回答要旨	備考
7	説明会	説明内容	大浜中学校区がⅡ期との答えはまちがってないですか？最初にⅢ期と説明がありました。	本日はお配りしていませんが、学校再編計画は検討時期が10年刻みの30年計画であり、原野谷学園・城東学園と続き、6番目に大浜学園となっています。時期がずれているのは学校再編計画と公共施設再配置の計画で開始時期が異なっているためです。学校再編計画は2023年から10年刻みで設定していますが、本日説明の公共施設再配置は2019年からの10年刻みということで、Ⅰ期が令和10年までとなっています。この関係でずれてしまっていますが、時期としては学校再編計画と同じですので、御理解頂ければと思います。	
8	検討の進め方	情報共有	公共施設についてインフラの説明会は実施しますか？	説明の冒頭に、公共施設は「建築物系」と「インフラ」に分かれ、本日は建築物系のお話をいたしました。インフラについて同様の説明会を設ける予定は現状ございません。インフラは現状水準を維持していこうという予定ですので、各所で御希望・御意見がありましたら担当課や市との協議の場でお聞かせ頂ければと思います。本日も配りした御意見カードも確実に担当課へお渡ししますので、御活用頂ければと思います。	
9	検討の進め方	市民意見	質問・意見を文章でまとめてほしい。	本日御質問頂き、お答えしている内容は、後日まとめて市ホームページにて公表いたします。	
10	再配置の方向性	縮充	大東支所・大東児童館・山王荘と建物が3つある中での「複合化」とはどんなイメージなのか。	それぞれ異なる機能の公共施設ですが、各サービスをまとめることで皆さまが1箇所で行政サービスを受けられる拠点にしたいという構想を今回御提案いたしました。安全面の確保として、階やゾーンで分ける等の検討もした上で複合化できればと考えています。まだ全国的な事例の収集までできていませんが、色々な年代の方が集まれる施設ができればイメージしています。	
11	再配置の方向性	跡地・空き施設	公共施設を解体した後の跡地はどうなるのか？	統廃合をすると不要になる施設が出てきます。建物は解体か譲渡のいずれか、跡地は譲渡や売却を考えていますが、まずは地域の皆さまに御相談したいと思っています。地域でお使いになる場合もあるでしょうし、こうなったらいいなという御希望がある場合もあります。幼保再編で出てきた幼稚園の跡地と同じように進めておりますが、庁内でこういった形で使えるかということを検討し、その後で地域の皆さまがお使いになるかどうか、希望も伺いながら進めています。そうした場面が出てきたら、ぜひ御協力頂き、良い方向を一緒に考えていきたいと思っています。	
12	再配置の方向性	個別施設の方向性	第Ⅰ期の譲渡の検討が計画されている産業交流プラザについて、現在、みなみ商工会と大坂地区まちづくり協議会が入居しているが、引き続き利用が担保されるのか？	譲渡等を契機に、より使いやすい施設とすることを考えています。地域まちづくり協議会の事務所機能、商工会機能のいずれも市や地区に必要と考えていますので、維持を前提に皆さまと検討していきたいと考えています。	

No.	大項目	項目	質問内容	回答要旨	備考
13	再配置の方向性	縮充	複合施設はよいと思うが、安全面で具体案があるのか知りたい。	例えば小中学校と複合化する上でセキュリティ対策をしなければならないという点があります。事例で御紹介したように、家庭科室や図工・音楽室等の特別教室を地域の皆さまがスムーズに使える状況として、外からの入り口を1階に集中させる等、施設の計画を考えております。皆さまが地域コミュニティとして使い勝手がよく、そこに学校施設があるという形を作っていきたいと考えています。	
14	再配置の方向性	事業実施の財源	用意できる財源が今は40億円あるが、40・50年後まで計画・試算しているか？将来財源が本当に用意できるのか？	残念ながら余剰が確保できるのかという試算は今の所できておりません。財政計画は今後10年程のスパンで考えています。色々な要因が絡んでくるため作るのが難しいためです。とは言え、今回の計画は50年先まで及ぶものですので、今用意できている財源は40億円の中で、不足は多くても30億円という試算になっています。	
15	再配置の方向性	防災	施設の耐震化がわからない。	市の公共施設で資料2に記載しているものは、平成20年代に耐震補強を集中して行い、基本的に全ての施設が静岡県のIの基準に合うよう改修しています。	
16	再配置の方向性	25%削減の目標設定	保有総量の適正化（令和50年度までに延床面積25%削減）としていますが、25%削減して金額として何億くらい減になりますか？	再配置構成素案に記載した方向性で全て対応した場合、総額で1,594億円、年間あたりで30億円の削減になります。	
17	再配置の方向性	30億円の財源不足	資料1 P9「厳しい財政状況」の説明を更に詳しく聞きたい。税収は横ばいということは理解できるが、令和2年度にその他の歳入、歳出とも大変高い数値であり、この年度の説明を詳しくお願いしたい。今後の計画の参考になるのではないか。	令和2年度の金額については国庫支出金が大きく関係しています。この年は国からのコロナ給付金を皆さまへお振込いたしました。その後もコロナ関連の対策費で多くなり、最近は落ちてきた中で一定程度の予算となっています。	
18	再配置の方向性	時期	資料2の検討次期。検討時期は検討されていますが、実施時期は随時実施していきますか。	検討・実施にはまず地域の方々・利用者の方々との話し合いで方向性を作ることが必要と考えています。実施時期については、検討して結論が出た時に着手していくこととなります。基本的には検討時期に実施も合わせて行っていきます。	
19	再配置の方向性	個別施設の方向性	防災センターは公民館と同じ縦軸に入るのか。	同じ縦軸には入りません。理由として、防災センターの所有者は市となっていますが、施設の運営・維持管理は地域に担って頂いています。この表は市が資金を負担して管理している施設を記載しており、コミュニティ防災センターは表に入っておりません。ただ、機能は公民館や地域学習センターに近いので、検討時期が合うようであれば、地域拠点と一緒に検討できればと思っています。	
20	再配置の方向性	その他	修繕の度合いは人命優先か市の財源か。	安全でなくなった時にそのまま放置するのか、ということかと思いますが、そういったことがないように早めに手を打ちたいというのが今回の再配置の考え方です。ただし、何かしらのアクシデントで使用するのが危険となる状況が出てくることもあり、その際に最も重要なのは人命、皆さまの安全です。安心・安全のために必要な財源を確保するまでは、危険がある場合は休館期間を設ける、というような対応になってくると思います。	

No.	大項目	項目	質問内容	回答要旨	備考
21	再配置の方向性	縮充	メリットばかりで、デメリットの話を聞きたい。	デメリットとして、まずは施設が少なくなること、1人当たりの面積が減ること、施設が遠くなることと思います。施設が少なくなることに関しては、質を上げることで補い、公共交通についてはNo.111記載のとおりです。	
22	再配置の方向性	交通手段	統合化により施設が遠くなり、交通が不便で利用しにくくなる。その場合の交通アクセス、公共交通の拡充等考えているか？	施設までの距離が遠くなってしまふ場合、学校関係であれば児童生徒に対してはスクールバスでの対応を考えています。地域ごとに施設を集約して地域拠点とすることで一定の需要を集め、公共交通の維持に繋がたいという考えもあります。公共交通のアクセスに限らず、全体としてバスの利用やデマンドタクシー等、地域支援者だけでなく自動運転などの新技術の活用も含めて、今後新たな公共交通のあり方を検討していきたいと考えています。	
23	再配置の方向性	個別施設の方向性	シートピアの現状をもう少し詳しく。利用者数、売り上げ等。	利用者数は譲渡する直前の令和2年度が5.9万人、譲渡後の令和3年度が6.4万人、令和4年度が7.2万人、令和5年度が7.8万人程と徐々に増えています。今年度も、前年同月比以上の結果になっています。売上については民間事業者の情報になるため、この場で詳しく申し上げるのは控えますが、譲渡前は修繕費等も含めて近年では年1億円程の税金を投入していましたが、宿泊施設等を造る中で収支が改善してきており、収支均衡の手前と聞いています。	
24	再配置の方向性	個別施設の方向性	資料の事例紹介にあったシートピアの譲渡について、民営化にあたり5～6団体の候補があり、決定までのプロセスは選定委員会による採点であったと記憶しています。他団体の提案内容などは調べてみてもわからず、当時の記事等あれば教えて頂きたい。	他団体の提案内容はそれぞれの団体のノウハウに当たるため、申し訳ございませんが公表はしていません。譲渡の条件としては令和10年8月まで土地を国安の財産区からお借りしていますので、最低限そこまでは温泉を経営頂き、叶わない場合は土地を返して頂くという条件下で譲渡し、現在経営いただいています。経営における資金の調達や投資の部分を含めて採点しています。	
25	再配置の方向性	30億円の財源不足	令和元年から取り組んできた実例がある。以前から言われている約30億円不足のデータは変化なしなのか。	資料1の13枚目で将来更新費用約73億円、不足が39億円と申し上げた件、これは平成28年3月策定時のデータです。令和元年から順次取り組んで来てまだ30億円のままだということと思いますが、30億円というのが令和3年度時点の額で、ここからギャップを無くしていくために大東温泉シートピアやならここの里等、色々な施設の再配置を進めています。大きなものを廃止しその結果が出てきたのが最近でして、30億円というのはそれ以前の金額と考えて頂ければと思います。ならこの譲渡や学校再編について、資料2の再配置の方向性で設定した全てを実現すると延床面積25%削減になります。	